



door
2006年 vol.2掲載

照明、家具、バス
ホテル
ロハスな家って
フォルムで魅せ



棟内に3種の床材を採用し、使い勝手などを試している。いずれも滑りにくく汚れや傷がつきにくいもの。「クッションフロア」は、一番ノーマルなタイプ。「コルク材」は、衝撃を吸収してくれる。「タイル」は、夏場の冷却効果

所在地/東京都三鷹市上連雀
交通/JR中央線三鷹駅 徒歩10分
規模/地上4階建
住戸数/14戸
住戸面積/37.10㎡~61.85㎡
賃料/13万7000円~19万円
構造/鉄筋コンクリート造
竣工/2005年4月
設計/ゼロワンオフィス一級建築士事務所
問合せ/山文 TEL:0422-55-0632
<http://www.laladogs.com/>

まずは犬が「住みたい!」

ペット「可」ではなく、 犬と暮らすための提案 [K9 Style one]

「一緒にいる生活スタイル」
決してペット「可」ではなく、犬を飼っている人を積極的に受け入れ、犬も住みやすい、犬と快適に住めるマンションを目指した。そのために、不動産プロデュースとは別に、ペットショップ「LalaDog」を始めた。そこでの意見を建物に取り入れる。その経験から、このマンションでやるべきことを判断していった。

まず、東西に抜ける開口を設けることで、滞留する二オイの軽減を考えた。次に各居室スペースでは、パートナーとして犬と暮らすために共有できるリビングスペースをなるべく広くとるようにした。床材は試験的に3種類を並戸ごとに貼りわけ、どう変化するか検証している。

「隣のペットショップは「LalaDog」2店舗が入り、入居者・地域住民の犬との生活をフォローする店舗を目指す。」
「入居者について」もこだわり抜いた。「犬を中心としたライフスタイルを持つ人たちに借りて欲しい」というのが大前提にあった。それは、みんなが犬を飼っているので共通の会話が成立し、コミュニティが成り立ちやすい関係が、「お互いさま」の関係が、全国各地に広がっていく。インドや中国からも「帰国し



オレンジ色がアクセントのマンション外観。ペットショップと動物病院を併設しており、ペットショップ、獣医、住居によるトライアングルの関係が生まれる。ペットショップ「LalaDog」には、トリミングルームもある(写真:古田陽子)

付帯施設や機能を充実
「ペット可」では飽き足らず
「ペットのため」を競い始めた

ペット住宅